

## 企業理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

## ビジョン

実行一流企業へ。

全員でお客さまのニーズと変化を考えぬき、スピードをもって実行し、マチの暮らしにとって、なくてはならない存在になります。

## 行動指針

1. お客さま、マチ、お店を起点に考えます。
2. 基本を徹底し、革新に挑戦します。
3. 仮説、実行、検証の質とスピードを高めます。
4. 規律のもとで自律し、チームでやりぬきます。
5. 自己の成長を求め、仲間の成長を支えます。

## ローソンのコミュニケーション媒体

### 統合報告書

マチに根ざしたローソングループの事業活動と、将来への持続的成長ストーリーを紹介しています。



ウェブサイト 冊子で紹介しきれなかった情報やデータを掲載しています。

### マチと共に生きる 取り組み報告

マチの社会・環境課題に取り組む活動を、理解しやすいようにできるだけ平易な言葉を使用し紹介しています。



### 財務セクション

当該年度の業界動向や経営施策、財務状況について報告しています。業績の評価と分析を行うとともに、次年度の見通しについても言及しています。



## 株式会社 ローソン

事業サポート本部 環境・社会共生

〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号

ゲートシティ大崎 イーストタワー

<http://www.lawson.co.jp/>

2017年8月発行

次回発行2018年8月予定

© 1975-2017 Lawson, Inc. All rights reserved.



B-(2)-060001



P05-0002

# LAWSON



## マチと共に生きる取り組み報告 2017

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

次ページへ

# 私たちは “みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

これがローソングループの企業理念です。

私たちは、マチにあるいろいろな問題を解決し、

お客さまからのさまざまなご要望やニーズにお応えすることで、

マチに暮らす人々をつなぎ、一人ひとりに笑顔が浮かぶマチづくりを目指しています。

## ローソングループ環境方針

### 基本理念

私たちローソングループは、豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会との共生と持続可能な発展に向けて積極的に行動します。

### 方針

- 1 低炭素社会の構築に向けて**  
地球温暖化防止に向けて、事業活動における省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に取り組みます。
- 2 商品・サービスなどの開発における配慮**  
原材料の調達から販売、廃棄までのすべての段階において、自然環境や地域社会への影響を十分に配慮します。
- 3 社会貢献活動への積極的な参画**  
地域社会の一員として緑化・美化活動に取り組むなど、社会貢献活動への積極的な参画を進めます。
- 4 継続的な改善の実施**  
環境マネジメントシステムを活用し、目的・目標を定め、継続的な改善により環境保全に努めます。
- 5 法令等の順守**  
環境保全活動に関連する諸法規及び自ら定めたルールを順守します。
- 6 コミュニケーションの推進**  
教育の推進により環境保全に対する意識の向上を図るとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進します。

2015年9月、国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」にて、「持続可能な開発目標 (SDGs)」が193の加盟国による全会一致で採択。2030年までに地球規模で解決すべき17の目標と169のターゲットが掲げられました。ローソングループも、経済、社会、環境、人権、ガバナンスなどの分野で積極的に取り組んでいます。



## Contents

### 夢を未来へ、つなぐ。

- P02 子どもの未来への一步をサポート
- P04 次世代の豊かな暮らしを応援
- P06 子どもへの学習支援
- P08 災害への備えとマチの復興支援



### マチへ元気を、つなぐ。

- P10 笑顔も届けるMACHI caféの一杯
- P12 健康に配慮した商品
- P14 いつでも安心 健康サポート
- P16 活気あるマチづくり
- P18 安全・安心も見守るお店



### 次世代へ恵みを、つなぐ。

- P20 未来のために「つくる」「へらす」店舗
- P24 もったいない余剰食品を有効活用
- P25 規格外野菜を惣菜などに加工し販売
- P26 什器・設備を再使用して有効活用
- P27 エコバッグのある生活を提案
- P28 サプライチェーンで環境負荷を低減



### 環境保全へ行動を、つなぐ。

- P30 マチをきれいに気持ちよく
- P31 よりよい環境へ継続的に改善
- P32 環境法令等の順守
- P33 ステークホルダーとのコミュニケーションを推進
- P34 データ集
- P36 企業情報



# 子どもの未来への一步をサポートする 夢を応援基金 (東日本大震災奨学金制度)

東日本大震災により、就学が困難になった学生さんたちを支援するための奨学金プログラムが「夢を応援基金(東日本大震災奨学金制度)」です。奨学金を受けて夢に向けてがんばっている学生さんの声と、ローソングループの想いを紹介します。



**田畑 祐梨さん**

夢を応援基金  
(東日本大震災奨学金制度) 奨学生  
宮城県南三陸町出身  
日本大学 国際関係学部 4年生

**村瀬 達也**

ローソン 理事執行役員  
事業サポート本部長



## 「夢を応援基金」が、夢に踏み出す私の背中を押してくれました。

**村瀬** ローソングループは、東日本大震災の復興には若い力が必要であり、若者に夢をあきらめさせてはいけないという想いで、この基金を2011年4月14日に創設しました。若い夢を大切に育みたいということです。

**田畑** 3月11日は中学校卒業式の前日でした。自宅兼母親が経営する美容室が流出してしまい、経済的な理由から進学に悩んでいたときに、「夢を応援基金」を知って応募し、希望の高校へ進学することができました。

**村瀬** そうですか。田畑さんのお役に立ててよかったです。「夢を応援基金」では、代金の一部を寄付する寄付つき商品も開発しています。宮城県農業高等学校の生徒さんと開発した「宮農パン」は、お客さま、お取引先、FC加盟店、そして社員などが一体となり、マチと基金を盛り上げました。高校生たちの「マチを元気にする」という想いが、一つの商品を通じて皆さんに伝えられることを実感しました。

**田畑** 私は高校生るとき、ローソンも支援している「TOMODACHIイニシ



アチブ)のプログラムでアメリカにホームステイをしました。そのときに「もっと世界を知りたい」と思い、日本大学国際関係学部への進学を希望しました。

**村瀬** 奨学生の皆さんからは、感謝とともに、これからはマチに恩返ししたいという声をいただいています。若い力がマチを復興させるという、創設当初の想いは間違っていなかったと感無量です。

**田畑** 私も夢を見つけることができました。将来は、南三陸町の子どもたちに国際交流の機会を増やして、英語の楽しさや学校では教わるできない学びを教えて、魅力ある南三陸町にしたいと思っています。

**村瀬** 東北地方が完全に復興を果たすまで、それぞれのマチへの支援を継続することが重要です。新しいメンバーがしっかり引き継ぎ、FC加盟店オーナーとともに前を向いて取り組んでいきたいと思っています。

### 浪江町「まち・なみ・まるしえ」に店舗をオープン

東日本大震災の被災地である福島県浪江町は、2017年3月の町民帰還開始を目指し、2016年10月28日に仮設商店街「まち・なみ・まるしえ」を開設しました。2014年に浪江町内で小売店舗として初めて営業を再開したローソンも「まち・なみ・まるしえ」内に店舗をオープンし、マチのインフラとして、日々の暮らしに不可欠な商品と安心を届けています。



# 次世代の豊かな暮らしを応援する “マチの幸せ”募金

ローソングループは“緑”と“子どもたち”への支援のために、  
「ローソン緑の募金」、「夢を応援基金(東日本大震災奨学金制度)」、  
「夢を応援基金(ひとり親家庭支援奨学金制度)」、「TOMODACHI募金」を4本柱に  
「ローソングループ“マチの幸せ”募金」を実施しています。

募金累計総額

約 **86** 億円

(1992年9月～2017年2月末日まで)  
上記金額には、“マチの幸せ”募金に加えて本部寄付金やLoppi(ロッピー)募金、ポイント募金、災害義援金募金などが含まれています。



店頭募金箱での募金活動のほか、マルチメディア情報端末「Loppi(ロッピー)」や、Pontaポイント及びdポイントによるポイント募金も実施しています。

1992	2011	2013	2017
<b>ローソン緑の募金</b> (右ページ参照) 開始	<b>夢を応援基金</b> (東日本大震災奨学金制度) 開始	<b>TOMODACHI募金</b> 開始	<b>夢を応援基金</b> (ひとり親家庭支援奨学金制度) 開始
募金総額 39億1,000万円 (2017年2月末日現在)	募金総額 18億9,000万円 (2017年2月末日現在)	募金総額 9,000万円 (2017年2月末日現在)	2017年7月1日より 店頭募金の受付開始

## 夢を応援基金 (東日本大震災奨学金制度)

寄付先: 公益社団法人  
Civic Force(シビックフォース)

東日本大震災で被災した学生さんたちを支援する奨学金(返還不要)プログラム。最長7年間、月額3万円の奨学金支給のほか、講演会やライブ、実践型教育プログラムなど、さまざまな活動を通して、社会に飛び立つまでをサポートしています。

## TOMODACHI募金

寄付先: 公益財団法人  
米日カウンシルージャパン

東日本大震災の復興支援から生まれ、教育や文化交流などのプログラムを通して次世代のリーダーの育成を目指す官民/パートナーシップが「TOMODACHIイニシアチブ」です。ローソングループは本プログラムの趣旨に賛同し支援を続けています。

## 一人ひとりの募金の積み重ねが、 健全な森につながります。

公益社団法人 国土緑化推進機構 常務理事  
青木 正篤 さん



私たち国土緑化推進機構は、全国植樹祭・全国育樹祭・全国緑化キャンペーン・緑と水の森林ファンド・緑の少年団の育成など、森林を中心とした環境事業に取り組んでいます。ローソンに支援いただいている「緑の募金」では、多くの国民や企業、団体の皆さんから善意の寄付金を集めて国内外の森林づくりを支援しています。

募金は、一人ひとりの善意の積み重ねです。善意が集まって大きな力になり、健全な森林の育成へとつながります。募金箱が全国13,000店舗にあることで、個人が思い立ったときにいつでも募金ができるということは、マチに「人」と「緑の募金」の接点があると言えます。私たちにとって、それはとてもうれしいことです。

また、「ローソン緑の募金」では毎年60校の小・中学校などに対して、植樹や木々の手入れ、ビオトープ設置など、学校緑化を実施しています。この学校緑化をはじめとして、FC加盟店オーナーや社員の方たちが森林整備活動に参加してくれることもありがたいと思っています。実際に森に入って理解を深めることは非常に意義のあることです。今後は、募金箱にチャリンとお金を入れるように手軽なキャッシュレス募金の仕組みを一緒に考えていきたいですね。



## ローソン緑の募金

寄付先: 公益社団法人  
国土緑化推進機構

地球に生きるすべての生き物にとってかけがえのない財産である森林を、将来に残すための活動を推進しています。ローソングループは本募金を通じて、全国の小学校・中学校や特別支援学校を中心とした学校緑化活動と、ボランティア団体が実施する各地の緑化事業などを支援しています。



国土緑化推進機構の詳しい活動内容は  
→<http://www.green.or.jp/>

## 夢を応援基金 (ひとり親家庭支援奨学金制度)

寄付先: 一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会

ひとり親(母子等)家庭の子どもたちが「進学したい」という夢をあきらめずにすむように創設した、就学支援を目的とした奨学金プログラムです。日本全国47都道府県にお住まいの、中学校3年生の生徒さんと高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程、特別支援学校(高等部)1～3年生の生徒さん合計400名を対象に、最長4年間、月額3万円(返還不要)の奨学金を支給します。

# 子どもへの学習支援 たくさんの夢が広がる スチューデントシティ※

ローソングループでは、仕事を通して子どもたちが社会の仕組みを学び、  
健やかに育つ環境をつくるお手伝いとして、  
京都市と仙台市の体験型学習施設「スチューデントシティ」に、体験店舗を開設しています。

※「スチューデントシティ」は、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(世界最大の経済教育団体である  
ジュニア・アチーブメントの日本本部)の登録商標です。



## 職業体験の真の目的は、 子どもたちの「生きる力」の 育成です。

京都市教育委員会 指導主事  
葉山 みどり 先生

京都市のスチューデントシティでは、施設(京都まなびの街  
生き方探究館)の中に銀行・商店・新聞社・区役所などから  
なるマチを再現し、職業体験を通じて子どもたちは社会の仕  
組みや経済の働きを理解しながら、「自ら考える」、「話し合  
う」、「意思決定する」、「協力する」などの「生きる力」を育ん  
でいます。

スチューデントシティは、本物に近いマチを再現していま  
す。「ほんまもん」を通して子どもたちに社会とのつながりを  
実感してほしいからです。スチューデントシティのローソンの  
店舗に並んでいる商品も、中身の入った実際の商品を陳列  
していただいています。子どもたちは、近所のローソンで実  
際に買い物をしたことがあり、社会の仕組みやお金の流れを  
学ぶ際にも実感が伴うため、理解しやすいようです。子ども  
たちに身近なローソンならではのメリットだと思います。  
スチューデントシティで学習した子どもたちは、目に見えて  
変化します。ある校長先生の話ですが、学習後に子どもたち  
が「仕事をするには勉強しないとイケない。明日からもっと勉  
強をがんばる」と言ったそうです。学校で毎日学んでいるこ  
とが将来につながることに気づいてくれたことは大きな喜び  
です。今後は、企業とボランティアの皆さんとさらに深く連  
携し、ご支援をいただきながら、一校一校の実情に応じたス  
チューデントシティを提供していければと考えています。



スチューデントシティは、子ども  
たちが授業の一環で体験を通じて社会  
と自分との関わり、経済の仕組み、お  
金とは何か、仕事とは何かなどの社  
会的自立力を育む教育プログラムで  
す。子どもたちは店員としてレジ操  
作や接客対応、売上集計業務などを  
体験します。

スチューデントシティの詳しい活  
動内容は→<http://www.ja-japan.org/education/student-city.html>

京都市スチューデントシティは、  
2007年1月にオープンし、11年目  
を迎えました。これまでに10万人以  
上の児童が学んでいます。詳しい活  
動内容は→<http://www.edu.city.kyoto.jp/scfp/>

## 子育て家族を応援するHAPPY LAWSON

子育て中のご家族を応援することを目指してつくられた店舗が「ハッピー  
ローソン」です。店舗には、ベビーカーでも通りやすい広めの通路や多目的ト  
イレ・授乳室を設けているほか、子育て家族はもちろん公園を観光するお客  
さままで、すべての世代が安心して集える休憩スペースも用意しています。



HAPPY LAWSON山下公園店  
(神奈川県横浜市)

# 災害への備えとマチの復興支援 マチのライフラインとしての 役割を果たす

ローソングループでは、大規模な災害に備えることはもちろん、  
災害が発生したときにはマチのライフラインとしての役割を果たすために、  
迅速に各種災害対策を講じて店舗の営業継続を目指します。  
また、被災者への支援として、被災地へ食料や日用品などの救援物資を提供しています。

## 大規模災害への備えと対応

ローソングループでは、大規模な災害が起きた場合、人命の安全確保を前提に、できる限り店舗を営業してお客さまに商品・サービスを提供し続けることを目指しています。そのため、大規模災害が起きたときにどのような行動をとるべきかを具体的に示した「災害対策マニュアル」を策定し、定期的に防災訓練を実施し、災害対策を確認しています。

大規模な災害が起きたときには、災害対策本部を迅速に立ち上げ、災害状況をリアルタイムで確認しながら対応できる「災害情報地図システム」などを活用して、安否確認、被害状況の把握、店舗や製造工場・配送センターなどへの支援を実施します。また、「災害時物資供給協定」や「帰宅困難者支援協定」を全国の自治体や一部の公共機関と締結しており、自治体と連携して避難所などへ救援物資をお送りします。



災害情報地図システム

## 最優秀レジリエンス賞を受賞／指定公共機関に指定

2017年3月、大規模災害などに備え、強くてしなやかな社会をつくる取り組みを発掘・評価・表彰する制度「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017」で、ローソンは災害情報共有基盤「災害情報地図システム」構築の取り組みが評価され「最優秀レジリエンス賞（リスクコミュニケーション情報分野）」を受賞しました。

またローソンは、2017年7月1日、内閣総理大臣の指定を受けて「災害対策基本法」に基づく指定公共機関となりました。災害予防、応急対策、復旧などにおいて重要な役割を果たせるよう、関係官公庁との緊密な連携に努めています。



## 熊本地震での災害対策

2016年4月の熊本地震は、熊本県や大分県などに甚大な被害をもたらしました。ローソングループは地震発生直後に災害対策本部を立ち上げ、FC加盟店オーナー・クルー・本部社員などの安否確認を実施しました。また、店舗の営業継続と被災店舗の早期営業再開のため、全国の本部社員などを緊急応援隊として店舗に派遣し、配送に関しては被災していない配送センターからの代替配送及び不足したトラックとドライバーの派遣を実施しました。

さらに熊本県及び熊本市の災害対策本部の要請を受けて、水や食料品などの救援物資を提供しました。また、全国のローソングループの店頭募金箱とマルチメディア情報端末「Loppi（ロッピー）」、Pontaポイント及びdポイントによる募金の受付を実施し、お客さまからお寄せいただいた義援金は総額で約3億1,200万円（2017年7月末日現在）となりました。



緊急応援隊

## 国内の大規模な災害をさまざまに支援する 公益社団法人Civic Force

公益社団法人 Civic Force 事業部  
新城 卓 さん

Civic Force（シビックフォース）は日本で起きる地震などの大規模災害に対し、NPOや企業、行政、住民組織などとの連携によって迅速で効果的な被災者への支援を実現するために設立されました。熊本地震の際、Civic Forceは行方不明者の捜索、支援物資の配布、避難所の運営など、さまざまな支援活動を行いました。ローソンからも支援を受けて、その避難所の環境整備・運営などに活用し、また、提供いただいたインクジェットプリンター3台も現地オフィスで有効に活用させていただきました。ローソンとは、被災地支援の緊急対応から奨学金「夢を応援基金（東日本大震災奨学金制度）」のような長期的な復興支援事業まで連携しています。マチに暮らす方々にとってはもちろん、私たちにも大変ありがたい存在です。

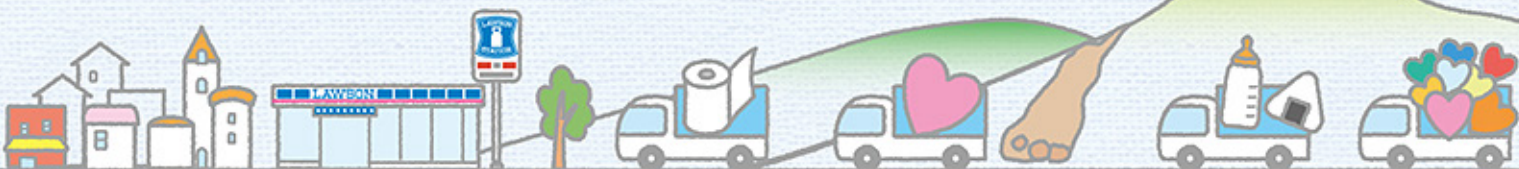


熊本地震で設置したプレハブ仕様のコミュニティスペース

※Civic Forceの詳細な活動内容は→<http://www.civic-force.org/>

## 2016年度に実施した災害義援金募金

募金名	義援金額
平成28年 新潟県糸魚川市 大規模火災義援金募金	211万1,567円
平成28年 台風10号等 災害義援金募金	643万7,546円
平成28年 熊本地震義援金募金	3億1,213万2,193円 (寄付つき商品を除く)
2016年 台湾地震救援金募金	3,240万4,694円



# 笑顔も届ける MACHI caféの一杯

店内淹れたてコーヒーサービス「MACHI café(マチカフェ)」には、一粒のコーヒー豆からお手もとにお届けするまで、お客さまとのつながりを大切にするローソンの想いがこもっています。

## 品質へのこだわり

ブラジル・イパネマ農園熟成豆をはじめ、厳選したコーヒー豆

コーヒー豆ごとに最適な方法で焙煎した後にブレンド

ミルク本来のコクと甘みがある生乳100%使用ミルク

## 手渡しへのこだわり\*

一杯一杯、コーヒーを手渡して提供

対話による癒しやリフレッシュ

お客さまとの絆の深まり

※一部セルフ販売の店舗もあります。



## 環境・社会に配慮

### レインフォレスト・アライアンス認証

レインフォレスト・アライアンスは、1987年に設立された国際的な非営利の環境保護団体です。環境保全や農園労働者の生活向上など、厳しい基準を満たした農園に認証が与えられます。ローソンは、MACHI caféで認証農園産のコーヒー豆のみ\*を使用しています。さらに、レインフォレスト・アライアンスと認証商品を取り扱う企業が協働で立ち上げた「レインフォレスト・アライアンスコンソーシアム」に参画してシンポジウムを開催するなど、普及・啓発活動を行っています。

\*シングルオリジンシリーズ、カフェインレスシリーズは対象外



## マチを想うから、心が触れ合う“手渡し”にこだわっています。

2016年度トップオブブランドファンタジスタ  
ローソン 熊本新町三丁目店 クルー

福嶋 静香 さん

MACHI caféは、2つの味にこだわりをもっています。一つは「厳選した農園のコーヒー豆」「焙煎後のブレンド」「エスプレッソ抽出」などといった舌による味わい、もう一つは手渡しによりお客さまの心に届く味わいです。手渡しはMACHI caféの大きな特長であり、私自身もとてもこだわっています。熊本地震の際、被災したお客さまにコーヒーを手渡したときに、「あなたが淹れてくれるコーヒーは、私だけのために作ってくれているみたいで、うれしくなるよ」とのお言葉をいただきました。そのひと言は胸の奥に刻まれており、お客さまとの確かなつながりを実感しました。これからもコーヒーと小さな幸せをお渡しして、マチに笑顔をつなげていきたいと思っています。



## 熊本新町三丁目店のお客さま

週に3、4回はカフェラテを買いに来ます。味はもちろん、なにより福嶋さんからの手渡しが心においしいです。そこには、お客さま一人ひとりへの、そしてマチへの愛を感じます。



大石 美奈子 さん

いろいろなコーヒーを飲み比べてみましたが、私はどこよりもMACHI caféのコーヒーが大好きです。子どもたちと一緒に頻繁に利用する身には、価格もお手ごろでうれしいですよ。



浅川 未佳 さん

この地域には、お年寄りや小さな子どもがいる家庭が多いので、笑顔での声かけやコーヒーの手渡しは安心感を生み出していると思います。20年前の開店当初からのローソンファンです。



宮崎 睦 さん

## コーヒーを極めたMACHI caféファンタジスタ

MACHI caféに関する知識が豊富で、お客さまにMACHI caféのこだわりやコーヒーの楽しみを伝えられるクルーが「MACHI caféファンタジスタ」です。ファンタジスタ専用の黒エプロンを着用した全国約9,000名(2017年5月末日現在)が、心をこめた一杯でお客さまをおもてなしています。なかでも、全国から選ばれた約200名のプロフェッショナルを「ブランドファンタジスタ」と呼んでいます。ファンタジスタたちは、コーヒーを通してお客さまとのつながりを深めています。



# 健康に配慮した商品で 心も体も元気に

「おいしい」ことを我慢せずに、安全・安心はもちろん、健康に配慮した商品を通じて、お客さまに心も体も元気になっていただきたい。

ローソンは、カロリーや糖質、塩分などに配慮した商品を提供することで、あらゆる方々に健康をお届けしたいと考えています。



ローソンで販売している商品を使った、**おいしいロカボメニュー**の提案をしています。

ローソンおすすめの、ロカボ商品は数多くあります。

※掲載しているチラシは見本（イメージ）です



## 続けられる。 それがロカボによる健康な食生活の 大きな特徴です。

北里大学北里研究所病院 医療連携室 室長 糖尿病センター センター長  
一般社団法人 食・楽・健康協会 理事長

山田 悟 先生

私が推奨しているロカボ（適正糖質食）は、厳しい食事制限をすることなく、お腹が空いたら食べることができます。糖質は三大栄養素の1つの炭水化物に含まれていますが、糖質を適正に保つことが重要なため、摂取する糖質量を1食40g以内、1日130g以内にするロカボを提唱しています。特に、食習慣や生活習慣が特殊なタクシードライバーの方にとって無理なくできるものです。ドライバーの方は座り続ける職業であり、食事は急ぎ食べが多く、さらに長時間の勤務で夜中に食事をすることも多いため、一般の方と比べると不規則な生活を送っています。そのため、ドライバーたちに「ゆっくりよく噛んで食べる」「早寝早起きをする」という健康指導は無理な話です。勤務中にコンビニを利用することも多いドライバーの方にも、ローソンの低糖質のブランパンは理想的です。ブランパンはおいしいため、「これならやれるよ」という声を多く聞きます。“楽しくて健康になれる”ことが長続きさせるコツであり、無理なく日常生活に取り入れられることが基本です。世の中の注目が集まる以前よりロカボ商品を開発し、提供し続けてきたローソンには感謝の気持ちでいっぱいです。これからもおいしい低糖質商品の開発を期待しています。



**ブランパン**  
小麦粉に比べて糖質が少なく、食物繊維が豊富なブラン（穀物の外皮）を使用した商品。糖質が少なく、ふんわり、しっとり食感の香ばしいパンです。

1個当たり

糖質	カロリー	食物繊維
2.2g	66kcal	5.7g



日の丸交通株式会社  
観光タクシードライバー 渡部 健さん

### ブランパンでロカボを実践——日の丸交通株式会社

ブランパンを中心に糖質量を考慮すれば好きなものが食べられるため、ロカボはストレスなく続けることができます。職業柄、食事は不規則になりがちですが、ローソンのブランパンは、いつでも、どこでも購入できるので大変ありがたいです。パンの種類が豊富でおいしいのもうれしいですね。



# いつでも安心 健康サポート

ローソンは「セルフメディケーション・サポート」として、ドラッグストア、調剤薬局チェーンや介護事業者と連携した店舗の出店などにより、医薬品の販売のほか、シニアやそのご家族のサポートなど、マチの方々の健康的な生活を幅広く支援しています。



## OTC医薬品(市販薬)の 取り扱い強化



ヘルスケアローソンは、OTC医薬品やビューティ商品など、通常の店舗にはない商品も品揃え。売場では登録販売者が相談応需を行っており、好評をいただいています。OTC医薬品の販売は2017年5月末日現在で、158店舗に達しています。

## 調剤薬局併設型店舗の出店



大手調剤薬局チェーンのクオール株式会社や、佐賀県と福岡県で調剤薬局・ドラッグストアを展開する株式会社ミズなどと共同で、調剤薬局併設型店舗の出店を進めています。2017年5月末日現在で、42店舗を展開しています。

## ケアローソンの出店



シニアやそのご家族をサポートする店舗が「ケアローソン」です。店内に、介護相談窓口や多世代の方々が気軽に交流できるサロンスペースを併設。また、シニアやそのご家族の方々のニーズに合わせた商品を揃えています。



## コンビニエンスストアならではの 喜びがあります。

ローソン 北海道運営部 札幌東支店 スーパーバイザー  
登録販売者資格取得年：2012年

秦 晴香

お客さまから「薬と一緒に弁当や飲み物も買えるので助かる」「薬局が開いていない時間に薬が買えて、いつもの店員さんに声をかけてもらえてよかった」などのお言葉をいただくことがあります。身近なお店で、いつもの店員から、いつでも安心して薬が買える。これが、お客さまにとってローソンで薬を購入する大きなメリットではないでしょうか。私たち登録販売者にとっては、日常の会話や体調相談の中で一人ひとりに合った薬をおすすめし、健康をサポートすることができます。以前、常連のお客さまの体調が悪いことを察知して、声かけとアドバイスを行い、数日後に元気になってご来店いただいたときは安心しました。その方からは感謝の言葉もいただき、ローソンで登録販売者になってほんとうによかったと感じました。

今は、スーパーバイザーとしてOTC医薬品の取り扱い店舗を増やし、よりお客さまに満足していただける店舗づくりを考えています。さらに「マチの健康ステーション」として、薬の販売にとどまらず健康に関するさまざまなサービスを展開し、お客さまが安心してまた行きたくなる店舗づくりを目指しています。健康サポートを通して「みんなと暮らすマチ」を幸せにする」ということを実現していきたいです。



## 自治体と協働してマチの人々の健康づくり

ローソンは「マチの健康ステーション」をスローガンに、マチの便利で健康的な暮らしの一助となることを目指しており、健康づくりの推進に関する協定を全国の自治体と締結しています。協定に基づき、健康に関する情報の提供や、店舗敷地内での検診車による健康診断の開催、健康相談イベントの実施など、自治体を実施する健康づくり事業に協力して連携を強化し、健康づくりを推進しています(自治体により取り組み内容は異なります)。



佐賀県みやき町との協定締結

# 活気あるマチづくりへ 自治体と連携

ローソンは、地産地消の推進や子育て支援、そして災害対応や環境への貢献など、マチや地方自治体と密接に連携しながら、各種活動を実施しています。



## 全国のお店を通じてマチを元気に

ローソンは、45の道府県と7つの政令指定都市などと「包括協定」を結び、マチの活性化及びマチの皆さまにとってより住みやすい環境をつくるための事業を、各自治体と協働して行っています。自治体との包括協定を通じて、マチに密着した店舗の運営やマチの食材を活かした商品の開発、福祉・子育て支援、観光振興、災害対策など、さまざまな地域貢献活動を積極的に進めています。また、7つの自治体と提携して、計10店舗のアンテナショップを展開しています。日本各地に広がるローソン店舗のネットワークの力で、日本中のマチを元気にしていきます。



## マチとの連携の根底には、 人とのつながりがあります。

ローソン 運営本部 九州エリアサポート部  
萩尾 伸廣



九州エリアでは、沖縄県も含め8県すべて及び3つの市と協定を結び、地元製品の販売、観光振興や広報、災害時の対策などさまざまな施策を実施しています。

このエリアで初めて包括協定を結んだのは佐賀県です。2006年に、県からの依頼で高齢者にやさしい店舗をオープンしました。通路の幅を広くし、佐賀県産の野菜・肉などの生鮮食品や県の特産品も取り扱う、特色豊かな店舗です。大分県では、地産地消を促進するために県産の食材を利用した弁当を「The・おおいた」ブランド商品として毎月2品発売したり、地元の高校生が考案した県産のサツマイモ「甘太くん」を使ったシュークリームなどを発売して大分ブランドのPRにも努めました。

また、福岡市では、電気自動車の普及に対応するために急速充電器を設置するなど、多種多様な取り組みをしています。現在、福岡県と協働して県内の店舗に広報ラックを設置していますが、そのラックは県の木材(間伐材)を使用し、障害者施設の方々の力を借りて制作しています。そこには製材業者、障害者施設、自治体、ローソン、そして協力して下さる多くの方々とのつながりが生まれています。大切なことは人と人との関係です。さらに、一つひとつの店舗がマチの人と密につながっていくことが重要だと実感しています。自治体と一緒にマチの課題や要望を解決していくことで、マチに暮らすお客さまからは喜びの声とともに応援の声もいただいています。



福岡県の広報ラック



甘太くんのシュークリーム



発売当時のチラシ

# マチのセーフティステーションとして 安全・安心も見守るお店



ローソンは、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会(JFA)のセーフティステーション活動に積極的に参加し、安全・安心なまちづくりへの協力や、青少年が育つ環境の健全化への取り組みなどを推進しています。

## 急病・ケガ人の救護

# 842

店

## 女性の駆け込み対応

# 1,470

店

## ストーカーへの対応

# 698

店

## 振り込め詐欺の防止

# 972

店


## 移動販売サービス

ローソン店舗から距離のある高齢者施設や企業、工場などにうかがい、食品や日用品などの移動販売を実施しています。その際には、自治体などと連携し、買い物中の高齢者の方々へ声をかける、「見守りサービス」も行っています。



2016年11月より移動販売で新型の専用車輛を導入。常温、冷蔵など4温度帯に対応するとともに、売上登録やレシート出力が可能なモバイルPOSを設置

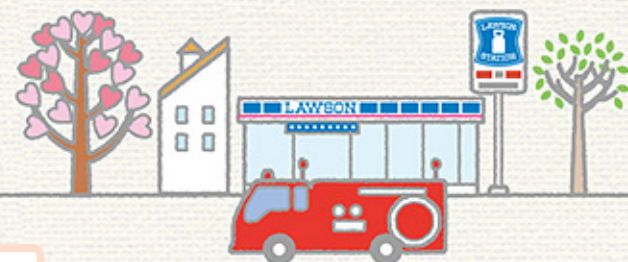
## 特殊詐欺を防止する

ギフトカード38,000円分を購入希望の、70代男性のお客さまが来店されました。その際、ギフトカードの購入に不慣れだったため購入目的をたずねると「電話で第三者から購入を促された」とのことでした。店員は詐欺の可能性を疑い、110番に通報しました。警察官が来店し、男性に詳細を確認したところ、ギフトカードの番号搾取詐欺と判明しました。



## 迷子を保護する

小学生未満のお子さんから、「おうちがわからなくなってしまった」との申し出があったため、店舗で保護しました。店内・駐車場で保護者の方を探しましたが見当たらず、110番に通報しました。警察官がお子さんと一緒に近隣を搜索し、無事にご自宅へ送り届けることができました。



## つきまといから女性を守る

見知らぬ男につけまわされたという女性の方が駆け込んできました。店舗ではその女性をバックルームに一時保護し、店舗からの帰り道も危険が考え、店員が付き添ってご自宅まで送り届けました。

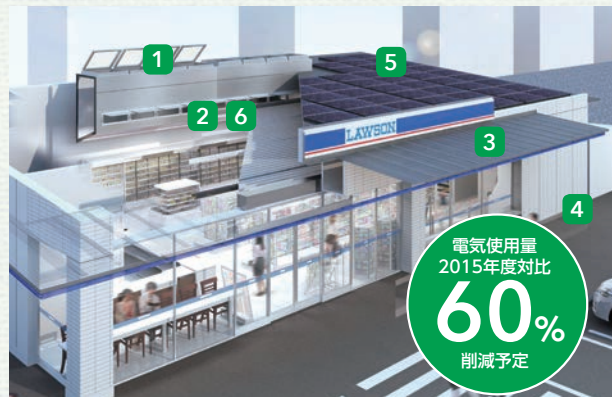
## 火災からマチを守る

平日の夕方、女性の方があわただしく店舗に駆け込み、「隣の家から煙が出ている」とおっしゃったため、女性と一緒に煙が出ている家を確認し、混乱している女性を落ち着かせ、119番に通報しました。ほどなくして消防車が到着し、消火活動を行い、火災はボヤで食い止めることができました。通勤通学の時間帯でしたが、近隣住民の方々には大きな影響が出ることはありませんでした。

# 未来のために 「つくる」「へらす」店舗を展開

ローソンは毎年、最先端の技術を結集した環境配慮モデル店舗をオープンし、省エネ効果を検証して効果の高かったものは新店などに導入しています。

最新の環境配慮モデル店舗 小平天神町二丁目店(東京都小平市)



<b>創エネルギー(つくる)</b>	
太陽光発電システム	約14%
<b>省エネルギー(へらす)</b>	
除湿式放射パネル空調	約8%
CO <sub>2</sub> 冷媒冷凍・冷蔵システム	約16%
+扉つきCO <sub>2</sub> 冷媒要冷ケース*	約13%
その他	約37%

電気使用量  
2015年度対比  
**60%**  
削減予定

## 1 集熱式トップライト

自然光を採り入れて照明を自動で抑制。空調機の補助として、冬期は太陽熱を集めて暖房に利用します。



## 2 勾配天井

店内の暖気(熱気)を勾配の高いほうへ自然に対流させ、排気または循環することで、空調・換気効率を向上させます。



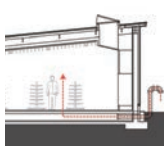
## 3 ポリカーボネートの庇

ポリカーボネートの庇が店前を明るくして照明を抑制。夏期には直達日射を軽減し、空調効率を向上させます。



## 4 床下空間の地熱利用

床下空間にたまった地熱を店内換気に活用。室内温度に近い外気を給気することで空調効率を向上させます。



## 5 太陽光発電システム

店舗屋根上に22kW相当の太陽光パネルを設置し発電。10kW相当は売電に、12kW相当は店舗の消費電力に充当しています。



## 6 除湿式放射パネル空調

天井の放射パネルで、夏期にしっかり冷却し、発生した結露水を排出することで、同時に除湿します。



\*CO<sub>2</sub>冷媒冷凍・冷蔵システム及び扉つき要冷ショーケースについてはP23を参照



コンビニ初

## 「五つ星+ZEB」

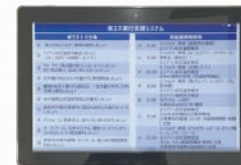
環境配慮モデル店舗「小平天神町二丁目店」は、5段階で建築物の省エネルギー性能を表示するBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)で最高評価の五つ星を取得しました。さらに、再生可能エネルギーの活用や高効率設備の導入などにより、一次エネルギー消費量(空調・換気・照明・給湯など)をゼロとする建築物に対して与えられる評価において、3段階評価(ZEB Ready、Nearly ZEB、ZEB)の中で、最高評価のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を獲得しました。



コンビニ初

## IoTによる省エネ実行支援システム

店舗に設置したタブレットへ、日常的に行う「省エネ」の実施案内を通知します。また、電力の安定的な供給に貢献するために、電力ピーク時に「節電(創電)」の実施案内をタブレットに通知し、それを選択することでIoT化された店舗設備(要冷・空調・照明機器など)を自動で「節電(創電)」できるシステムを導入しています。これはコンビニエンスストアで初めて、経済産業省の「VPP(バーチャルパワープラント)構築実証事業」の採択を受けた取り組みです。



## 最新の創エネ・省エネ技術を検証し、多くの店舗への導入を推進しています

ローソン 開発本部 建設部  
津田 直人



環境配慮モデル店舗では、最新の技術を取り入れて創エネ・省エネ効果を検証し、効果の高い技術は他の店舗への導入を進めています。その結果、現在LED照明はほぼ全店舗で、また、太陽光発電システムとCO<sub>2</sub>冷媒冷凍・冷蔵システムは約2,000店舗で導入しています。最新の環境配慮モデル店舗「小平天神町二丁目店」は、建築物の省エネルギー性能を評価するBELSで最高評価をいただきました。また、電力ピーク時に自動節電できる、IoTによる電力コントロールも93店舗で実施しています。ローソンの全店舗で実施すれば、相当量の電力をコントロールできるポテンシャルをもっています。FC加盟店を含めたローソングループが、日本のエネルギー問題にも貢献できていると思っています。

次世代へ恵みを、つなぐ。

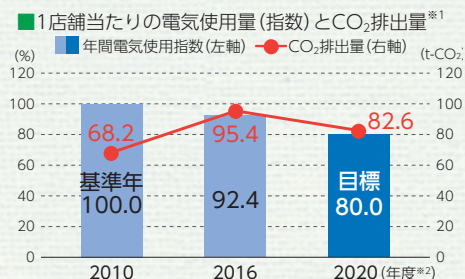
# 未来のために 「つくる」「へらす」店舗を展開

ローソン店舗では、2020年度までに1店舗当たりの電気使用量20%削減(2010年度比)を目指し、省エネタイプの機器を導入するほか、「省エネ10か条」を定めて各店舗で実践しています。

## 省エネ目標

省エネルギー目標として、ローソンは「1店舗当たりの電気使用量を、2020年度に2010年度比20%削減」を設定し、省エネ・創エネ対策を進めています。

※1 CO<sub>2</sub>排出量は電気事業連合会が出している受電端の調整後係数を使用。2016年度、2020年度は2015年度の係数で試算  
※2 行政年度4月1日から翌年3月31日で算定



## <へらす> 省エネ10か条

- 週1回、要冷機器や空調機器のフィルター清掃
- エアコン設定温度  
夏:27℃、冬:18℃、中間期:OFF
- 商品搬入出時に、ウォークイン・業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉時間を削減
- 要冷機器・空調機器の室外機周辺の整理整頓
- 夏場に凍らせて販売する飲料商品などは冷蔵保管してから補充
- ホット飲料は、常温で保管している商品を補充
- 業務用冷蔵冷凍庫内への商品の詰め込みすぎに注意
- 不在時のバックルームや倉庫の照明とエアコンOFF
- オープンケースのエアーカーテンを守った商品陳列
- 業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉回数の抑制



## <つくる> 太陽光発電システム

太陽光発電システムの導入に取り組み、2016年度までに約2,000店舗の屋根に設置しました。売電用の10kW(5kW×2系統)と店舗で使用する2kWの合計で、12kWの発電が可能です。



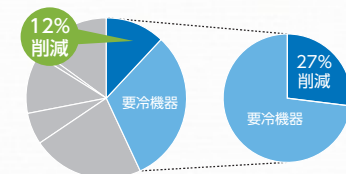
小平天神町二丁目店に設置された2kW相当の太陽光パネル(同店の発電量は12kWではありません)

## <へらす> CO<sub>2</sub>冷媒を使用した 冷凍・冷蔵システムの積極的な導入

ローソンは2010年度より、フロン類を使用せずに省エネルギー効果が高い「ノンフロン(CO<sub>2</sub>冷媒)冷凍・冷蔵システム」の設置をスタートし、約2,000店舗(2017年2月末日現在)に導入しました。このシステムは、フロン類と比較して地球温暖化への影響が約1/4,000とされるCO<sub>2</sub>を冷媒に利用しているため、温室効果ガス排出量を大幅に減少させることができます。また、省エネルギー性能に優れており、店舗全体の電気使用量のうち12%を削減することができます。



CO<sub>2</sub>冷媒機器による削減効果



店舗全体の電気使用量 要冷機器の電気使用量

## <へらす> 扉つき要冷ショーケース

一部店舗の要冷ショーケースに、ペアガラス扉をつけて冷気もれを防ぐとともに、断熱材を強化して断熱性能を高めることで、冷蔵効率をアップさせています。



## お客さまのCO<sub>2</sub>をへらす「CO<sub>2</sub>オフセット運動」

「CO<sub>2</sub>オフセット」とは、自ら排出したCO<sub>2</sub>を植林・森林保護・クリーンエネルギーなど、ほかの場所で実現したCO<sub>2</sub>排出削減量で埋め合わせる考え方です。ローソンでは、共通ポイントサービス「Pontal」で貯めたポイントと排出権を交換したり、排出権付き商品を購入することで、お客さまの生活で発生するCO<sub>2</sub>のオフセット(埋め合わせ)を支援する「CO<sub>2</sub>オフセット運動」を推進しています。これまでにオフセットされたCO<sub>2</sub>は累計約27,600トン、参加されたお客さまはのべ3,316万人になります。

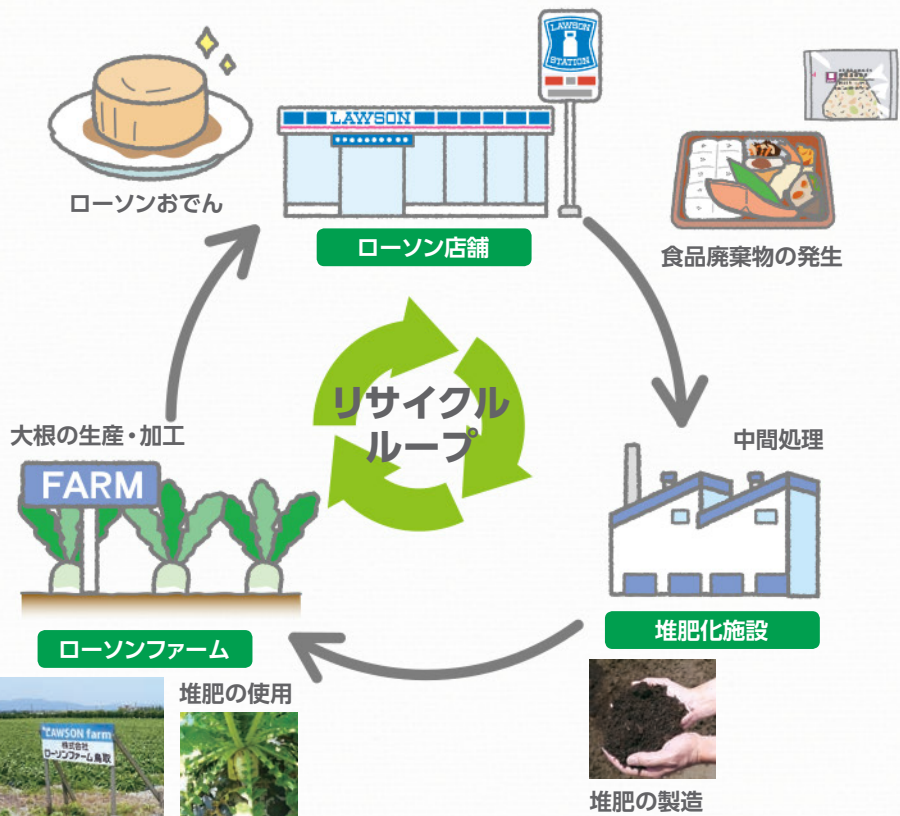


# もったいない 余剰食品を有効活用



全国のローソンファームでは、土壌を分析してミネラルバランスを整えた健全な土で農作物を生産しています。また、ローソンファーム鳥取では、近隣エリアのローソン店舗から排出された食品廃棄物をリサイクルしてできた堆肥を、土づくりに活用しています。店舗の売れ残り食品から堆肥が生まれ、その堆肥で大根が生産され、ローソン店舗でおでん用の大根として販売される、という食品リサイクルループを実現しています。

■食品リサイクルループ～食品廃棄物が資源として循環するモデル～



## ローソンファーム

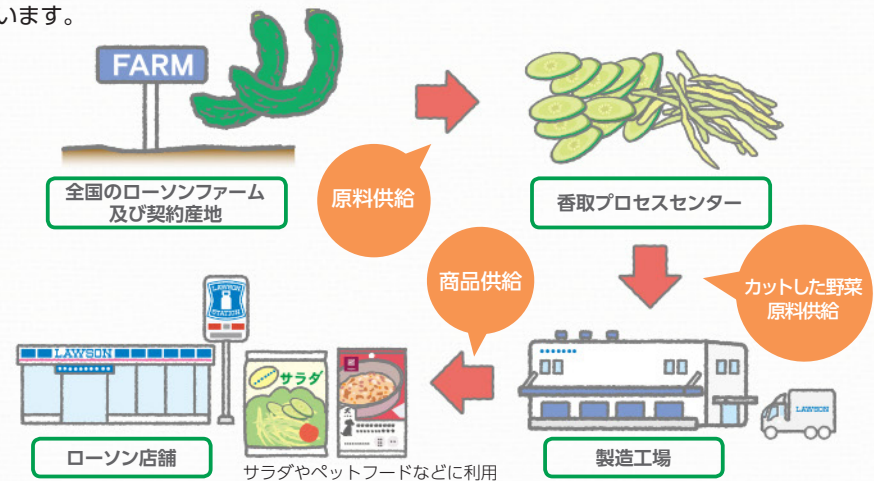
人々の健康的な生活を支える、安全・安心で高品質な新鮮野菜や果物を、ローソングループの店舗に安定的に供給するため、「ローソンファーム」を全国23カ所（2017年2月末日現在）で展開しています。全国のローソンファームの産地リレーで、新鮮な野菜を周年調達しています。



# 規格外野菜を 惣菜などに加工し販売



味や栄養などの品質は変わらないのに、形や大きさなどの見た目がほかと少し異なる農産物が規格外野菜です。この規格外野菜は通常の販売には適さないために、店頭に並ぶことなく廃棄される場合があります。ローソンファームでは10～15%の規格外野菜が産出されますが、これらを加工して惣菜やサラダ・漬物などに利用することで、農産物の有効活用に役立っています。



## 食の安全や環境保全に 取り組む農場として 「JGAP」認証を取得



ローソンは、より一層食の安全の確保に取り組むと同時に、ローソンファームの適切な農場管理体制を構築するため、JGAP<sup>※1</sup>認証取得に取り組んでいます。2016年度には、全国で展開するローソンファーム22カ所<sup>※2</sup>でJGAP認証を取得しました。流通企業と農業生産法人が集団で連携してのJGAP認証取得は全国で初めてです。

※1 JGAP (Japan Good Agricultural Practice) :食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証で、農林水産省が導入を推進する農業生産工程管理手法の一つです

※2 ローソンファーム広島神石高原町(JAS有機を取得)を除く、すべてのローソンファームが取得しています

※3 JGAP認証農場のマークの下にある番号は、株式会社ローソンファーム千葉の番号です

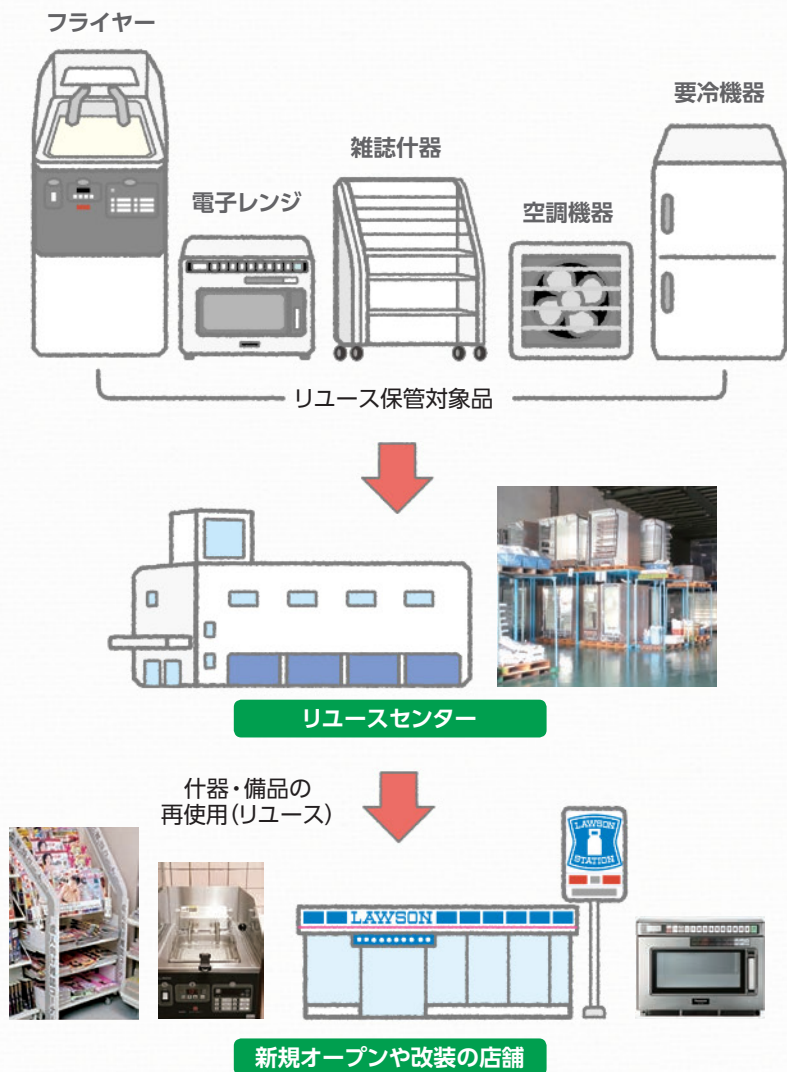
■ JGAP認証 取得状況 2017年2月末日現在

ファーム名	申請品目
千葉	小松菜・大根・ニンジン
兵庫	玉ネギ・白菜・レタス
茨城	ぶなしめじ
石巻	ミニトマト・キュウリ・ネギ
大分豊後大野	ネギ
山梨	ぶどう
北海道本別	小麦
愛知	キャベツ・白菜
宮崎	キュウリ
十勝	玉ネギ
北海道岩内	大根
秋田	ペピーリーフ
新潟	米
長崎	リーフレタス・サニーレタス・ネギ・玉ネギ
鳥取	大根
熊本	みかん
薩摩	キャベツ
愛媛	みかん
愛知豊橋	いちご
鹿児島	大根・ニンジン・かんしょ
大分	トマト・ミニトマト
いちき串木野	レタス・リーフレタス

# 什器・設備を 再使用して有効活用



店舗の改装や閉店の際、一定の基準をクリアした什器・設備を  
リユースセンターで保管し、新規にオープンする店舗などで再使用しています。  
東西2ヵ所にリユースセンターを設置し、それぞれの什器・設備に管理ナンバーをつけて  
それをもとに管理することで、地域を超えた再使用を可能にしています。



# レジ袋削減のため エコバッグのある生活を提案



店舗スタッフの声かけや、ケータイバッグ「コンビニecoバッグ」を作成・配布するなどして、お  
客さまにご協力いただき、レジ袋削減への取り組みを行っています。

## ケータイバッグの作成・配布

レジ袋を削減するために、購入頻度の高い弁当と  
ペットボトルがぴったり収まるサイズのケータイ  
バッグ「コンビニecoバッグ」を作成しています。多く  
のお客さまにバッグを携帯していただくために、  
2007年3月より一部のローソン店舗で無償配布  
をスタート。その後、店頭マルチメディア情報端末  
「Loppi (ロッピー)」での販売、さらにバッグの仕様  
を公開して賛同企業を募り、社外での普及も進  
めてきました。その結果、運動をスタートして9年  
で配布総枚数は約438万枚\*となりました。



\*コンビニecoバッグ以外のケータイバッグも含まれます

## ■ケータイバッグ配布累計実績



## 普及啓発でレジ袋削減への取り組み

店舗スタッフの声かけや店内放送、啓発ポスターの掲出など  
により、レジ袋の削減に努めています。さらに、自治体で行って  
いる「レジ袋削減キャンペーン」に参加し、レジ袋削減への協力を  
呼びかけるステッカーの掲出や、適正なサイズのレジ袋の  
使用も推進しています。2016年度の1店舗当たりのレジ袋使  
用重量は2000年度比で25.9%の削減となり、お客さまへのレ  
ジ袋配布率は78.0%となりました。

## ■レジ袋削減キャンペーンを行っている自治体

北海道旭川市、仙台市、福島県、東京都江戸川区、東京都武蔵野市、横浜市、名  
古屋市、京都市、奈良市、大阪府泉大津市、兵庫県尼崎市、岡山県、福岡県、長崎  
県、鹿児島県



店舗に掲出しているレジ袋削減ポスター

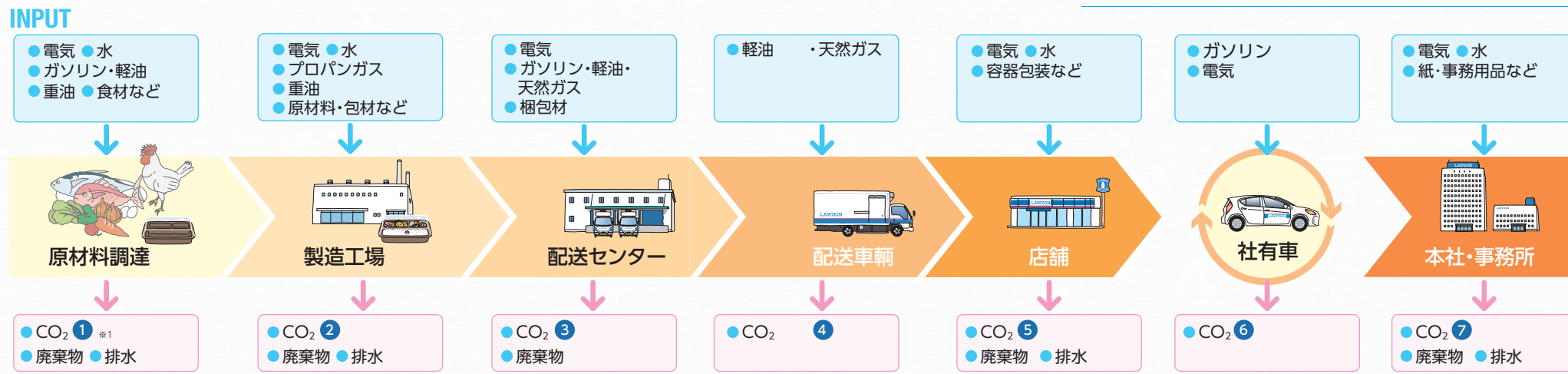
# 原材料の調達から店舗での販売まで サプライチェーンで環境負荷を低減



ローソングループは、高付加価値の商品を製造し、お客さまの身近なマチで販売する、「小商圏型製造小売業」の確立を目指しています。

そのため、サプライチェーンのすべての工程への関与を高め、商品開発においてムダなく食材を利用したり、効率的な配送を行うなど、サプライチェーンの効率化に努めています。併せて、環境負荷を低減する活動にも取り組んでいます。

■ サプライチェーンにおけるマテリアルフロー及びCO<sub>2</sub>排出量



仕入れた原材料①② 74.46% [3,711.8] ※2  
(PB・NB製品、レジ袋など)

FC加盟店の電力⑤ 20.47% [1,020.4]

**OUTPUT**  
合計CO<sub>2</sub>排出量 2016年度 **4,985.1**千トン

※1 CO<sub>2</sub>の後の番号①～⑦は棒グラフの番号に相当します。  
※2 [ ]内はCO<sub>2</sub>排出量(単位:千トン)  
サプライチェーンを通じた、温室効果ガス排出量の算定方法  
基本ガイドラインに関する業種別解説(小売業) Ver.1.0に基づき算定

配送センターの  
エネルギー消費③④  
**1.73%**[86.6]

容器・割り箸・  
レジ袋の廃棄⑤  
**0.69%**[34.6]

店内廃棄物、クローズ・  
改装時の産業廃棄物⑥  
**0.53%**[26.3]

本社・エリア・支店・  
直営店舗の電力⑤⑦  
**0.51%**[25.3]

社有車の  
ガソリン⑥ **0.11%**[5.3]  
出張⑦ **0.01%**[0.5]

電力の調達に伴う  
エネルギー関連  
**1.49%**[74.3]

## 原材料調達で

弁当・おにぎりやデザートなどには、できるだけ国産の旬の食材を使用しています。各生産地の地域活性化につながるとともに、外国産の原材料を使用することに比べて、輸送エネルギーを削減できます。

## 製造で

製造段階では、原材料の投入量、出来高量、盛り付け量などをグラム単位で管理する「生産加工管理システム」を導入。余分な商品をつくらない仕組みで、廃棄物の発生を抑制しています。

## 物流で

共同配送の推進や配送頻度の適正化を図るとともに、トラックの燃費向上のため、エコタイヤを導入。ドライバーを対象に、アイドリングストップなどの研修も行っています。

## 店舗で

弁当・おにぎりや調理パンなどの商品の発注に「セミオート(半自動)発注システム」を導入しています。お客さまにとって欲しい商品がいつでもあるように、品揃えと発注数を適正化することによりムダな廃棄を抑制しています。

「COOL CHOICE」の取り組みに賛同しています

「COOL CHOICE」は、部屋の電気のオン・オフ、顔を洗うときの蛇口の開け閉め、エアコンの温度設定など、毎日の暮らしのささやかな省エネ行動で「二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガス排出量を抑える」国民運動です。ローソングループもこの取り組みに賛同して低炭素社会の実現に貢献しています。

次世代へ恵みを、つなぐ。



# マチをきれいに 気持ちよく



ローソングループは、各自治体などが主催する、美化活動や環境イベントに積極的に参加しています。環境イベントでは、ローソングループの環境への取り組み内容を紹介するとともに、「ローソン緑の募金」の活動もアピールしています。



**世界の京都・まちの美化市民総行動**  
実施日：2016年11月6日(日)  
場所：京都市内(繁華街や観光地)  
参加人数：41人  
2004年より継続して参加しています。



**ラブアース・クリーンアップ2017**  
実施日：2017年5月21日(日)  
場所：福岡市中央区 大濠公園  
参加人数：88人  
1994年より継続して参加しています。



**仙台エコフェスタ2016**  
実施日：2016年9月4日(日)  
場所：宮城県仙台市青葉区 勾当台公園市民広場  
2012年より継続して参加しています。



**ふれあいの祭典 丹波ふれあいフェスティバル**  
実施日：2016年10月29日(土)・30日(日)  
場所：兵庫県丹波市 兵庫県立丹波の森公園  
2009年より継続して参加しています。

# よりよい環境へ 継続的に改善



環境マネジメントシステム「ISO14001」を活用し、目標を定めて継続的に改善することにより、環境保全に努めています。

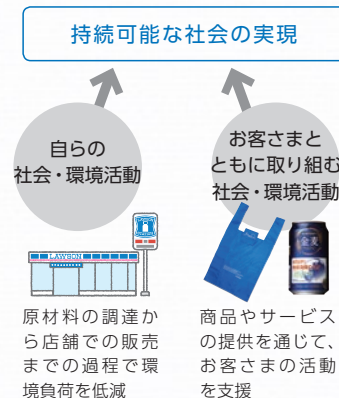
## 持続可能な社会の実現に向け、 2つの大きな視点から取り組みを推進

ローソングループは、社会・環境への取り組みを推進する上で次の2つの視点からの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現を目指します。

一つ目は、自らの社会・環境に貢献する活動です。特に事業活動によるCO<sub>2</sub>排出量の削減のため、サプライチェーンのCO<sub>2</sub>排出量を把握するとともに、店舗には最新の省エネルギー機器を導入するなどしています。

二つ目は、商品やサービスの提供を通じて、お客さまの社会・環境活動への支援を積極的に進めています。

### ■ローソングループの目指す姿

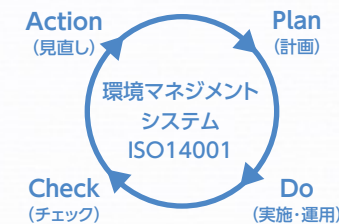


## 「ISO14001」を活用し、環境負荷を低減

社会・環境に配慮した事業活動を推進するため、環境マネジメントシステム「ISO14001」を活用し、PDCA (Plan-Do-Check-Action) のサイクルで社会との共生の推進や環境負荷の低減に努めています。「ISO14001」を推進するため、事業サポート本部 環境・社会共生が事務局となり、本社・エリア・グループ会社の代表メンバーであるCSV<sup>※</sup>推進担当者と連携し、社会・環境目標の進捗管理、店舗への指導・援助、内部環境監査・外部審査への対応などを行っています。マネジメントシステムが有効に機能しているかどうかを確認するため、年に複数回の内部環境監査に加え、第三者機関の審査を受けて、取り組み状況の確認とさらなる改善を重ねています。2016年度は外部審査において、2015年度版規格の移行審査を受け、認証が登録されました。

※CSV(Creating Shared Value)：共通価値の創造

### ■環境マネジメントシステムを活用し、進捗を確認します。



**【ISO14001の対象範囲】**  
2017年3月1日現在  
本社20本部・室、  
8エリア、  
4グループ会社  
店舗13,111店舗<sup>※</sup>  
<sup>※</sup>店舗数は2017年2月末日現在

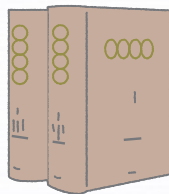
## 環境法令等の順守

ローソングループは環境関連法令を順守し、社内環境監査で潜在的な環境リスクを洗い出し、環境事故の未然防止に努めています。

また、社内環境監査における結果や新しい法規制の動向、他社で起こった事故の事例などをグループ内で共有し、グループ全体での意識向上に努めています。

### ローソングループに関わる主な環境法令

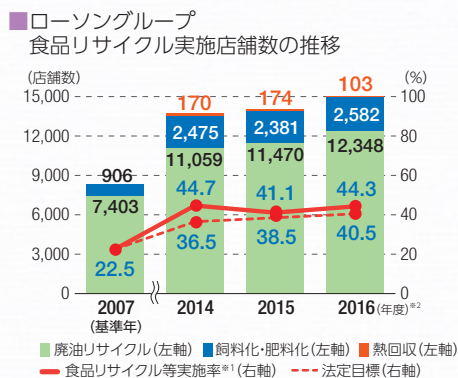
名称	分野
エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)	省エネルギー
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	省エネルギー
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物削減
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)	廃棄物削減
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	廃棄物削減
浄化槽法	水質汚濁
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	オゾン層保護
電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(再生可能エネルギー特別措置法)	省エネルギー



### 売れ残り食品のリサイクルを推進

ローソン店舗では、売れ残り食品として1店舗1日当たり約9kg、揚げ物に使った食用油(廃油)は同約2kg排出しています。ローソングループでは、売れ残り食品はリサイクル工場に搬入し、飼料(ブタやニワトリのエサ)や肥料に、また、回収された廃油は飼料用添加剤(エサの材料)やバイオディーゼル燃料などに再生しています。

リサイクルを推進した結果、2016年度の食品リサイクル等実施率は法定目標40.5%に対し、44.3%の実績となりました。



\*1 食品リサイクル等実施率は、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)ローソン高知、(株)ローソン山陰を除いた数値です。  
\*2 4月1日から翌年3月31日で算定しています。

## ステークホルダーとのコミュニケーションを推進

社会・環境教育の推進により、環境保全に対する意識の向上を図るとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進しています。



### 社内環境研修

ローソングループでは、本部社員及びFC加盟店オーナー、さらに店長やクルーを対象とした社会・環境教育を行っています。新入社員に対する研修をはじめ、年一回、eラーニングによる全社員を対象とした環境一般研修を実施しています。FC加盟店に対しては、オープン時研修のほか、社内情報誌や本小冊子などを通じて、情報共有をしています。CSV推進担当者は、社内の研修に加えて外部の研修を受講したり、外部検定を受検して、環境への意識を高めています。



### 廃油を回収するお取引先とのコミュニケーション

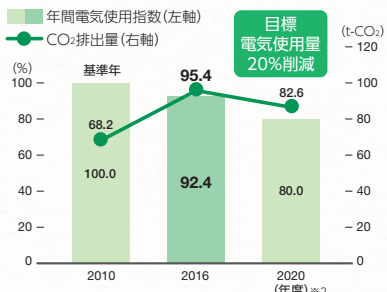
年に一度、全国の廃油回収のお取引先が一堂に会し、ダイレクトコミュニケーションを行うことにより、法令順守とサービスレベルの向上に協力して取り組んでいます。その一環として、店舗アンケートで高い評価を得た企業及びドライバーの表彰を行い、さらなる改善への意識を醸成しています。

### CSV小委員会

事業サポート本部 環境・社会共生が事務局となり、本部・エリア・グループ会社の代表メンバーであるCSV推進担当者が出席して毎月開催しています。主な活動内容は、社会・環境目標の進捗管理・情報共有、店舗への指導・援助、内部環境監査・外部審査への対応、社会・環境教育の推進です。



### 1店舗当たりの電気使用量(指数)とCO<sub>2</sub>排出量※1



※1 CO<sub>2</sub>排出量は電気事業連合会で出している受電端の調整後係数を使用しています。2016年度、2020年度は2015年度の係数で試算しています。  
 ※2 行政年度に合わせて4月1日から翌年3月31日で算定しています。

### CO<sub>2</sub>オフセット運動

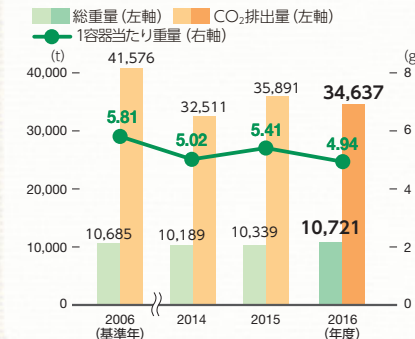
参加されたお客さまの数

のべ**3,316**万人

オフセットされたCO<sub>2</sub>累計

約**27,600**トン

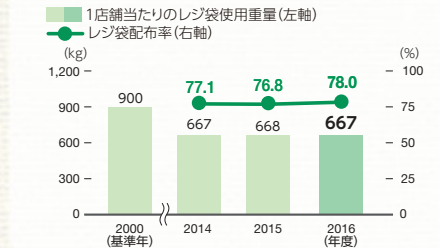
### 容器包装重量及びCO<sub>2</sub>排出量の推移



### ケータイバッグ配布累計実績

2014年度 **431**万枚 ▶ 2015年度 **434**万枚 ▶ 2016年度 **438**万枚

### 1店舗当たりのレジ袋使用重量



### 2016年度サプライチェーンのCO<sub>2</sub>排出量

合計CO<sub>2</sub>排出量

**4,985.1**千トン

配送センターのエネルギー消費 **1.73%** [86.6]  
 容器・割り箸・レジ袋の廃棄 **0.69%** [34.6]  
 電力の調達に伴うエネルギー関連 **1.49%** [74.3]

仕入れた原材料 (PB・NB製品、レジ袋など) **74.46%** [3,711.8] ※

FC加盟店の電力 **20.47%** [1,020.4]

※ [ ]内はCO<sub>2</sub>排出量(単位:千トン)

サプライチェーンを通じた、温室効果ガス排出量の算定方法基本ガイドラインに関する業種別解説(小売業) Ver.1.0に基づき算定

店内廃棄物、クローズ・改装時の産業廃棄物 **0.53%** [26.3]

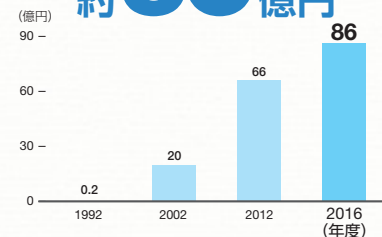
本社・エリア・支店・直営店舗の電力 **0.51%** [25.3]

社有車のガソリン **0.11%** [5.3]

出張 **0.01%** [0.5]

### 1992年からの累計募金額 (災害募金含む)

約**86**億円

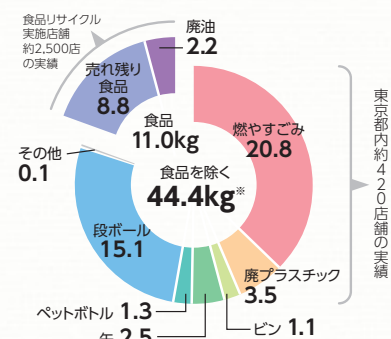


### ローソン緑の募金活動実績

募金総額 **約39.1**億円  
 活動地域 **4,148**カ所  
 緑化面積 **約7,104**ha  
 緑化本数 **約1,776**万本

緑化面積・本数は、「ローソン緑の募金」総額及び「緑の募金」全体の活動実績から、一定の仮定のもとに算出したものです(1992年9月～2017年2月)。

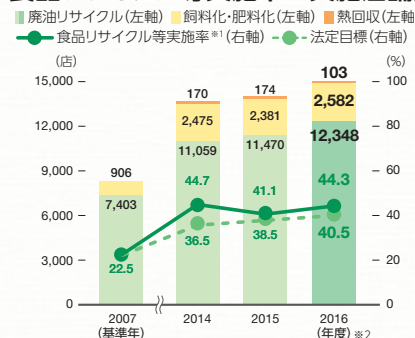
### 1店舗1日当たりの廃棄物量推計



東京都内約4,200店舗の実績

※ 食品廃棄物とそれ以外の廃棄物を合計すると55.4kgになります。  
 ※ 2016年4月1日～2017年3月31日で算定しています。

### 食品リサイクル等実施率&実施店舗数



※1 食品リサイクル等実施率は、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)ローソン高知、(株)ローソン山陰を除いた数値です。  
 ※2 4月1日から翌年3月31日で算定しています。

### OTC医薬品(市販薬)取り扱い店舗数

**158**店舗

### 調剤薬局併設型店舗数

**42**店舗

(2017年5月末日現在)

### 災害時物資供給協定の締結先

自治体 **47**都道府県 **17**市区  
 その他 東京消防庁・陸上自衛隊

公共交通機関等 **8**機関

電力会社 **2**社

### 帰宅困難者支援協定の締結先

自治体 **41**都道府県 **10**政令都市

(2017年3月1日現在)

# 企業情報

## 会社概要

2017年2月末日現在/連結(代表者については2017年5月末日現在)

<b>社名</b>	株式会社ローソン	<b>事業内容</b>	コンビニエンスストア「ローソン」
<b>所在地</b>	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー		「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開など
<b>代表者</b>	代表取締役 社長 竹増貞信	<b>全店舗売上高</b>	2兆1,579億円(連結)
<b>設立</b>	1975年4月15日	<b>国内店舗数</b>	13,111店舗
<b>資本金</b>	585億664万4千円	<b>出店エリア</b>	国内47都道府県・中国(上海市・重慶市・大連市・北京市・武漢市)・インドネシア・米国ハワイ州・タイ・フィリピン
<b>社員数</b>	9,403人		

注1: 全店舗売上高(連結)は、国内コンビニエンスストア事業、海外事業及び成城石井の店舗売上高の合計です(連結対象のみ)。なお、成城石井事業については直営の成城石井店舗のみを集計しています。  
 注2: 国内店舗数は、株式会社ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、株式会社ローソン山陰、株式会社ローソン沖縄、株式会社ローソン南九州、株式会社ローソン高知が運営するローソン、株式会社成城石井の運営する直営の成城石井の店舗数の合計です。

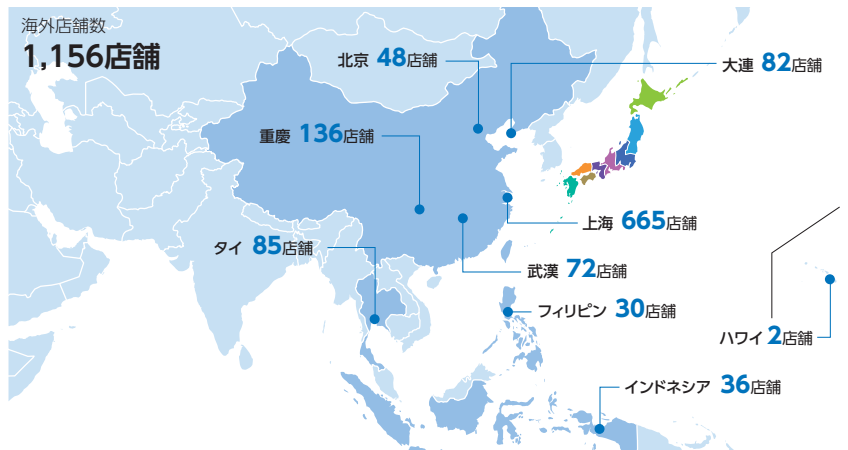
## 店舗展開エリア 総店舗数(国内外合計)※ 14,267店舗

2017年2月末日現在

### 国内店舗数※ 13,111店舗

<b>北海道地方</b> 637店舗	<b>関東・甲信越地方</b> 4,517店舗	<b>中部地方</b> 1,580店舗	<b>近畿地方</b> 2,458店舗	<b>中国地方</b> 779店舗	<b>九州・沖縄地方</b> 1,473店舗
<b>東北地方</b> 1,053店舗	茨城 193 栃木 157 群馬 115 埼玉 599 千葉 550 東京 1,588 神奈川 872	富山 186 石川 104 福井 110 静岡 256 愛知 629 岐阜 164 三重 131	滋賀 154 京都 328 大阪 1,048 兵庫 663 奈良 128 和歌山 137	鳥取 137 島根 149 岡山 172 広島 199 山口 122	福岡 473 佐賀 68 長崎 106 熊本 145 大分 176 宮崎 104 鹿児島 191 沖縄 210
青森 234 岩手 169 宮城 227 秋田 188 山形 105 福島 130	山梨 122 長野 173		<b>四国地方 614店舗</b> 徳島 134 香川 131	愛媛 214 高知 135	

※上記店舗数には(株)ローソン山陰、(株)ローソン高知、(株)ローソン南九州、(株)ローソン沖縄が運営する店舗数が含まれます。また、海外店舗数は、各地域の運営会社によるローソンブランド店舗数です。



## グループ企業情報

2017年2月末日現在

分野	会社名	分野	会社名
国内コンビニエンスストア事業	(株)ローソン (株)ローソンストア100 (株)SCI (株)ローソン沖縄 (株)ローソン南九州 (株)ローソン高知 (株)ローソン山陰	コンサルティング事業	(株)ベストプラクティス
エンタテインメント関連事業	(株)ローソンHMVエンタテインメント ユナイテッド・シネマ(株)	海外事業	羅森(中国)投資有限公司 上海羅森便利有限公司 重慶羅森便利有限公司 大連羅森便利有限公司 羅森(北京)有限公司 Saha Lawson Co., Ltd.
金融サービス関連事業	(株)ローソン・エイティエム・ネットワークス	成城石井事業	(株)成城石井

## 主要な事業とサービスのご紹介

2017年2月末日現在

 小商圏型製造小売業で「みんなと暮らすマチ」を幸せにする、ネイバーフッド・ストア。 (運営会社) 株式会社ローソン 株式会社ローソン沖縄 株式会社ローソン南九州 株式会社ローソン高知 株式会社ローソン山陰	 「毎日だから大切に」をコンセプトに「美しく健康で快適な」ライフスタイルを身ぞでサポートするお店。 (運営会社) 株式会社ローソン
 生鮮食品、惣菜、日用品など多くの商品も100円(税込108円)で販売し、日常生活を簡単・便利に、節約支援するお店。 (運営会社) 株式会社ローソンストア100	 世界の食品を世界の街角の価格で提供する。食にこだわる人のためのライフスタイルスーパー。 (運営会社) 株式会社成城石井
 健康とおいしさをお届けするローソンの宅配サービス。ローソンフレッシュの商品以外にも、ローソングループの食品、日用品などの商品も購入できる総合宅配サイト。 (運営会社) 株式会社ローソン	 全国23か所にある、ローソングループの店舗向けに青果を生産している農場。 (運営会社) 各地のローソンファーム
 CD・DVD等の音楽/映像ソフトや書籍などを販売する全国55店舗の専門店。 (運営会社) 株式会社ローソンHMVエンタテインメント	 コンサート・スポーツ・演劇・映画など、あらゆるエンタテインメントのチケットを販売するサービス。 (運営会社) 株式会社ローソンHMVエンタテインメント
 コンサート・スポーツ・演劇などのチケットをはじめ、音楽/映像ソフト、書籍などの販売を行う総合エンタメECサイト。 (運営会社) 株式会社ローソンHMVエンタテインメント	 4DX®(体験型上映システム)導入や映画以外のコンテンツの提供を通じ、映画鑑賞だけでなく、そこで過ごす時間も豊かにするシネマコンプレックス(複合映画館)を運営。 (運営会社) ユナイテッド・シネマ株式会社
 ローソンの店舗に設置している銀行との共同ATMの設置、管理及び運営事業。 (運営会社) 株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークス	 ローソンの店舗を拠点とし、ローソングループの商品や佐川急便の荷物のお届けやお買い物、住まい、暮らしをサポートするサービス。 (運営会社) SGローソン株式会社